【駅すぱあとのお知らせ】
京急バスの金額式IC定期対応について

※主に、管理機能をご利用のお客様向けのご案内です。

通勤費Webをご利用いただきありがとうございます。
駅すぱあと2022年4月第3版（2022年4月1日(金)リリース済み）にて、
京急バスの金額式IC定期券に対応いたしました。

金額式IC定期券は、4月1日の利用開始分より発売されています。
川崎エリアを除く、神奈川県内の一般路線バスが対象とのことです。
1ヶ月・3ヶ月定期券の金額は従来と同額で発売、加えて6ヶ月定期が新設されるとのことです。
これに伴い、通勤費Web上で必要な処理についてお知らせいたします。
（※駅すぱあと2022年4月第3版のその他改訂詳細は、こちらをご覧ください）

- **3ヶ月定期→6ヶ月定期への切り替えについて**
  - 6ヶ月支給の運用を行われているお客様は、**次回の継続更新**で
    3ヶ月定期 × 2行 の明細が 6ヶ月定期 × 1行 に更新されます。

    - 例（4月開始分を3月に前払で支給済みの場合）
      継続更新前の明細
      ・1行目：3ヶ月　2022年4月1日～2022年6月30日
      ・2行目：3ヶ月　2022年7月1日～2022年9月30日
      継続更新後の明細
      ・1行のみ：6ヶ月　2022年10月1日～2023年3月31日
    - ただし、京急バスの複数区間を乗り継ぐ経路については
      再登録が必要な場合があります（後述）。
      また、継続更新時に再探索エラーとなる場合も再登録が必要です。

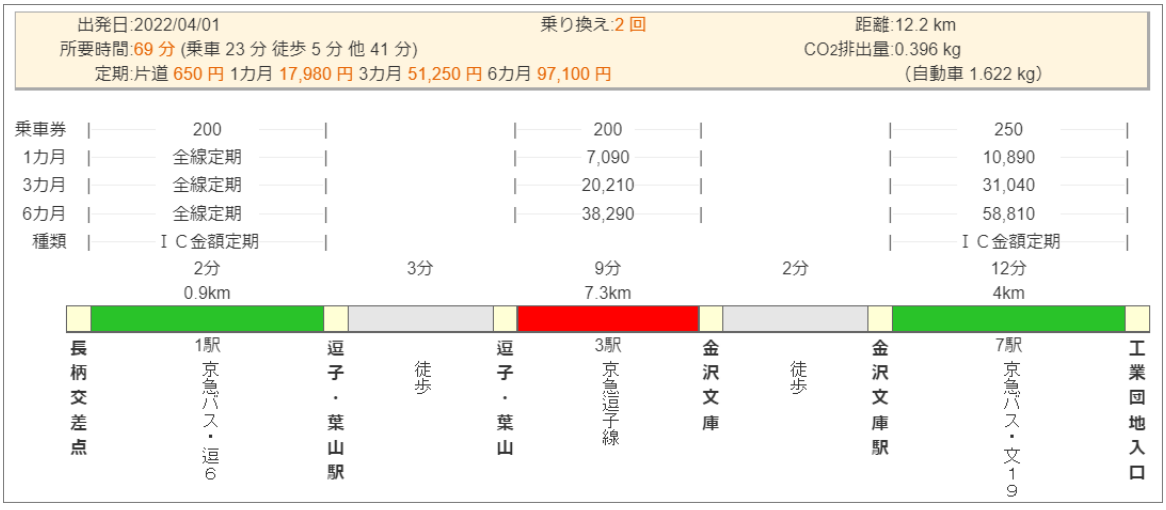
  - 次回の継続更新を待たず、前払いで支給済みの4月利用開始分から
    6ヶ月定期に変更されたい場合は、**4月に3ヶ月定期×2明細の全額払戻と、6ヶ月定期の支給（新規に申請または明細を登録）**を行ってください。
  - 公共交通機関の継続更新設定で、「継続更新期間：元明細と同じ」に設定
    されている場合は、3ヶ月定期は3ヶ月定期のまま更新されます。
    6ヶ月定期への変更が必要な場合は、恐れ入りますが、継続更新後に
    明細の再登録（3ヶ月明細を削除して、6ヶ月明細を登録）を行ってください。

- **遡及の申請があった場合の明細登録について（6ヶ月支給の運用の場合）**
    - バスの情報は最新の1世代分のみ保持しているため、
      駅すぱあと2022年4月第3版のリリース後に、2022年3月31日以前に
      利用開始となる経路の申請があった場合、金額式IC定期として明細が登録されます。
      このため、当時は発売されていないはずの6ヶ月定期の明細が作成されてしまいます。
    - お手数ですが、**明細の再登録（6ヶ月明細を削除して、3ヶ月明細×2行を登録し、
      後半の3ヶ月明細だけを継続更新対象にする）**を行ってください。

- **払戻処理について**
    - 恐れ入りますが、京急バスの定期券の払戻計算には従来より未対応です。

- **複数区間を乗り継ぐ経路の金額算出について**
    - 金額式IC定期券は、乗車区間ではなく運賃区間に対して発売されますので
      複数のバス区間を乗り継ぐ経路の場合、一番高額な区間の定期券を持っていれば、
      他のバス区間にも乗車できることになります。
      このため、一番高額な区間のみ定期券代を算出し、他の区間は0円で明細登録します。





- 駅すぱあと2022年4月第3版のリリース前から明細が存在し、リリース後に
  継続更新を行う場合、自動的に上記のような金額算出ができません。
  継続更新では、明細の区間ごとに駅すぱあとの再探索を行っているため、
  引き続き、乗車区間ごとに定期代が算出されてしまいます。
  恐れ入りますが、京急バスを乗り継ぐ経路で、一番高額な区間のみ
  金額式IC定期券の金額を支給される場合は、明細の再登録
  （区間ごとではなく、通しで経路を再探索して登録しなおす）が必要となります。

お手数をお掛けいたしますが、ご確認のほどよろしくお願いいたします。
ご不明な点は下記までお問い合わせください。

■お問い合わせはこちらまで

株式会社ヴァル研究所　通勤費Web担当　info@val.co.jp